

第3回越前町部活動地域移行検討委員会

議事録

日 時 令和6年10月24日(木)
午後7時00分～8時30分
場 所 織田コミュニティセンター
2階中会議室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 協議事項

(1) 部活動地域移行の概要について

(2) 越前町の取組み経過について

事務局説明：資料1、資料2による

委員長	事務局より説明のありました件につきまして、ご意見、ご質問はありませんか。
-----	--------------------------------------

委員各位	(質疑、意見なし)
------	-----------

委員長	無いようですので、次の議題に移ります。
-----	---------------------

(3) 本町の中学校部活動の実情と地域移行の考え方について

事務局説明：資料3による

委員長	事務局より説明のありました件につきまして、ご意見、ご質問はありませんか。
-----	--------------------------------------

副委員長	この資料について、保護者の方をはじめとして、初見の方もいらっしゃると思います。それぞれの立場で率直な意見をお聞きした方が良いと思いますので、皆さんご意見をいただいてもよろしいでしょうか。
------	---

- 委員 若手教員を中心に未経験種目の指導に関わることに負担を感じていること、また、子どもたちにとっても専門的な指導を受けられるというところでは、マッチした内容になっていると思っております。一方、指導に関わりたい教員もおり、地域貢献というところで地域の活動にも関わる要素も含まれていると理解しているところです。
- 地域移行を進めていく中で、いろいろな問題がでてくると思いますが、都度整理して、令和8年度のスタートに向けて準備してほしいと思います。
- 委員 文化部の体制づくりも同時に進めていってほしいです。特に吹奏楽部について、先日の20周年式典オープニングで、4中学校の吹奏楽部が一同に演奏したようなものになってくると思っております。
- 委員 現在、中体連では、クラブチームと部活動の練習時間が極端に異なり、同じ大会に出ることはどうなのか、という意見も多くなっており、大会の在り方が今後変わることも考えられます。具体的な動きは現在見られませんが、とにかく地域移行を進めて、できるだけ同じような体制で大会にできるような仕組みを作っていく必要があると思っております。
- 委員 地域移行を進めるにあたり、完璧なスタートを目指さず、とりあえず動き出すという考え方を持つことが必要だと思っております。そして進めていく中で、問題点が出れば、少しずつ改善していくことが必要ではないでしょうか。
- 委員 当初、中学校の部活動が完全に地域に移行すると思っていて、平日と休日の活動のやり方が変わるといったことについては、思っていたことと違っていたのが率直な感想です。子どもも多いので、親目線から言うと、負担が増えてしまうとちょっときついな、と思いました。ただ、学校部活動とは違う種目の活動ができるという点は、子どもの成長にとっては魅力的だと感じました。
- 委員 大会の参加方法についてはどうなるのでしょうか。運動部活動に所属する子どもたちは、大会の参加を一つの目安として頑張っていると思います。
- 昨年度は大会の出場はクラブチームで出るという話があり、この案から考えると、町内の4中学校で出場するのかな、と思っていたところです。新しい競技が増えることは良いことですが、例えばバドミントンについては大会自体あるのかな、とも思いました。
- 私としても、完璧なスタートは難しいと思いますので、想定される問題についてある程度準備しつつも、まずはスタートさせることが大事だと思います。
- 質問させていただきたいのですが、地域移行開始は、令和8年度の4月か、夏以降か、どちらでしょうか。

事務局

今後協議していくこととなります。

委員

平日は部活動、休日はクラブ活動という体制になると、例えばクラブ活動では休日は試合はできるけど、部活動だと平日は試合が難しく、中々練習の成果を披露する場が確保できないことが想定されます。また、中体連の話もありますが、大会の開催日や引率については、今後どうなっていくのでしょうか。

クラブ活動をいろいろ整備していくとのことですが、現在そのようなクラブは存在するのか、また、中学生を受け入れるようなキャパがあるのか、お伺いしたいと思いました。

負担的な部分についても、今後、今までよりもプラスαとなる場所が出てくると思いますので、その点については今後しっかり話しあっていないと、と思いました。

副委員長

先生や保護者の方からいろんな声をいただきましたが、現在、わかっている範囲で結構ですので、県の方の意見をお伺いしたいと思います。

オブザーバー

教員が地域クラブの指導者として従事する、いわゆる兼職兼業については、届け出を提出して、部活動を含めた時間外勤務と、クラブ指導者としての勤務を80時間以内とする、というルールがあります。働き方改革の観点から、何でも兼職兼業を活用して教員が従事するようになることはどうなのか、と思いますが、指導者の確保は、地域移行を進めるにあたっては特に大きな問題だと県としても認識しています。先生の力も借りながら、まずは地域移行して、都度そのような問題点について検討を進めていくことが必要だと思っております。

次に、平日部活動の地域移行についてですが、指導者の確保という問題から、休日の地域移行よりも確実にハードルが高くなっていきます。昨日、スポーツ庁の有識者会議があり、令和8年度以降の地域移行の動きとして、6年くらいかけて平日の地域移行も進めていこうという話がありました。今後この意見を踏まえつつ、方針が決定されていくと思っております。休日の地域移行を進めるにあたり平日も見越して動いていく必要もありますが、種目によっては難しいところも出てくると思います。いろいろな面で試行錯誤しながら、できるところから動いていくことが必要だと思っております。

直接質問にはありませんでしたが、受益者負担について、学校から地域への活動に移行するということで、体制も変わって来ますので、今後、多少なりとも保護者の方には負担がかかってくると思います。先ほどの有識者会議でも、公費で見る部分、受益者に見ていただく部分についてどのようにしていくのか、今後議論していく必要があるという意見も有りました。負担を強いてしまうということについては、保護者の方にもご理解いただき、地域が一体となって移行を進めていくことが必要だと思っております。

中体連については、大会の規模を縮小する、競技数を減らすという方針のもとで、北信越や県の大会をどのようにしていくか、現在検討している段階でございます。また、大会を平日に行うか、休日に行うか、この件についても議論が難しいところでもあります。平日に行えば、学校業務の一環として行うということで教員の負担が減る一方、審判等の手伝いなど、人員確保が難しくなってくると考えられ、休日の方がやりやすいのではないかと、という声も多数いただいております。また、休日に大会が開催されるとなると、クラブとして参加するのか、学校部活動として参加するのか、協議する必要がありますし、学校部活動として参加するのであれば、教員の引率も必要になってくると思いますので、大会の在り方も含めまして、今後さらに協議されていくことになると思います。

委員長

学校側からは、地域移行に期待するようなご意見、保護者の方からは負担的な問題や大会に関する事などについてご意見をいただきました。

現在事務局として、特に、受益者負担の費用面について、どのくらいになるのかという想定はありますか。他市町の事例でも良いので、参考になる数値があればお願いします。

事務局

県内の事例を見ると、市町によって異なりますが、月 500 円～5,000 円程度、受益者から費用を徴収しクラブ活動を実施しています。ただ、現時点では移行期間ということですので、令和 8 年度からはどのようになるのかわからない、検討しているという自治体が大半であることを伺っております。

本町としては、昨年度、保護者の方にもアンケートを行い、どのくらいの費用負担が妥当なのかという聞き取りを行いました。その結果、1 カ月あたり 1,000～3,000 円の負担が妥当ではないのか、という意見をいただいております。

事務局

地域移行のメリットの一つとして、子どもたちに多様なスポーツや芸術活動に接する機会を保障することが大きな柱となっています。一方、受益者負担について、費用や送迎について、各家庭環境の間で差が出るようでは、矛盾しているようなこととなりますので、そのような点については格差が発生しないようにすることは教育委員会でも検討していく必要がある、と考えております。

委員長

ほかに、ご意見、ご質問はありませんか。

委員各位

(質疑なし)

委員長

無いようですので、次の議題に進みます。

(4) 地域移行の進め方と方法およびモデル事業の実施について

事務局説明：資料4による(4、5ページ：地域移行の進め方・方法について)

委員長	事務局より説明のありました件につきまして、ご質問、ご意見はありませんか。
委員	令和7年度末までの移行期間について、可能なところからクラブを開設して地域に移行するとのことですが、その場合、移行期間であっても、クラブ開設した競技については、休日の部活動は実施しない、ということなのでしょうか。
事務局	移行期間であっても、クラブ開設して体制が整っていれば、休日の学校部活動は実施しないことを考えています。
委員	そうすると、練習試合や大会は、クラブで行うことになるのですか。
事務局	中体連の方針などを踏まえながら検討していくことになっていきますが、現時点では、学校部活動としてもクラブチームとしても参加はできるので、協議しながらどのように参加するのか決定していきたいと思います。
委員	それは、移行してから検討するのですか、それとも検討したあとに移行するのですか。
事務局	指導者や参加者の方の意見もあると思うので、一度、地域に移行して、意見を聞きながら決定していくべきではないのかと思っております。
委員長	参加の方法についての議論は頻繁に発生することが想定されます。 学校としてはどのような対応を想定しているのでしょうか。
副委員長	おそらく越前町としては、学校単位でしか出場できないと思います。新規種目は別として、学校にある部活動種目については、学校単位や合同部活動単位でしか出場できないと思います。
委員	資料1を見ると、活動の形として、「競技志向で特定の種目や分野に専念する活動」と「スポーツ・文化芸術に親しむ活動」とあり、大会の参加は「勝ちにこだわる」考え方、「皆で和気あいあいと参加する」考え方の二極化するのかな、と。野球に絞ると、ボーイズのようなクラブは「勝ち」にこだわる方針、町内の合同部活動であれば、大会に出ることができるだけで満足している生徒もいると思

委員長	<p>ます。地域移行後にどうなるか、この点についてはわからないのが現状です。指導者や引率者もどうなるのか、という話にもなってくると思いますね。</p>
委員	<p>それは今後の話し合いになると思います。</p>
事務局	<p>大会に学校部活動で出るのか、クラブで出るのかについては、今後協議しなくてはならないと思っております。</p> <p>また、「勝ち」にこだわるのか、「親しむ」ことにこだわるのか、この点については、「子供たちがスポーツや文化芸術活動に今後も継続して親しめるような機会を確保すること」が、地域移行の大きな考え方になっております。そういった観点から言いますと、その活動が楽しいと感じること、協調性などを身に付けるなど、本町としては、地域移行後のクラブ運営については、どちらかと言えば勝ちにこだわるものではないと考えています。地域移行の受け皿が、えちぜんスポーツクラブになることも踏まえて考えてみても、総合型スポーツクラブとしての考え方を踏襲していきたいと思っております。</p>
委員	<p>改めて確認させていただきますが、えちぜんスポーツクラブに中学校部活動競技のクラブを開設するということですね。</p>
事務局	<p>そうです。考えているのは、えちぜんスポーツクラブに元々あるクラブとは別に、中学校の部活動地域移行枠みたいなものを設けてクラブを開設し、活動していきたいと考えています。</p>
委員	<p>現在の平日3日、休日1日の活動頻度については、学校側の意向だと思いますが、クラブチームの活動の仕方は全く違うと思います。</p> <p>今の話を聞きますと、野球に絞って考えますと、「勝ち」にこだわりたいと思う生徒はボーイズのようなクラブチーム、活動に親しみたい生徒は「えちぜんスポーツクラブ」に入る、というようなニュアンスに聞こえるのですが、そのようなことでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>極端な話を言ってしまうとそのとおりでございますが、勝つことの大切さであったり、そういったことも教えていくことも必要だと思っております。</p>
副委員長	<p>同じ「クラブ」といっても、ボーイズのようなクラブチームと、えちぜんスポーツクラブのような総合型のスポーツクラブがありますので、そのところの違いについてご理解いただければと思います。</p>
オブザーバー	<p>地域クラブの概念として、従来から活動しているクラブチームと、部活動の受</p>

け皿となる地域クラブの2つがあると思います。

新しく部活動の受け皿となる地域クラブについては、部活動の延長ではないとは言いましても、従来の教育的意義を受け継ぎながら、勝利至上主義ではなく、いろいろな面を配慮したうえで運営していただきたいと思います。例えば、活動時間や休養日等については、国のガイドラインに基準が明記されておりますので、ルールを守りつつ、教育的意義も引継ぎながら運営していただくこととなります。

大会の参加方法など考えるべき事項は多くありますが、子どもたちのことを考えると、休養日を適切に設けることが望ましいですし、指導者のハラスメント的な問題についてもその対策を徹底していくべきと考えております。

委員

地域移行の趣旨として、子どもたちの多様なニーズに応えていくことが必要と感じています。勝利至上主義を望む子どもたちもいれば、生涯スポーツとして活動に親しみたい子どももいると思いますので、それらのニーズに応えることができるような体制を是非整備して行ってほしい。ただ、できることは限られていますので、可能な限りそのような要望に応えて行ってほしいと思っております。

委員長

ほかに、ご質問、ご意見はありませんか。

委員各位

(質疑なし)

委員長

無いようですので、次に進みます。

事務局説明：資料4による（6、7ページ：モデル事業の実施について）

委員長

事務局より説明のありました件につきまして、ご質問、ご意見はありませんか

委員各位

(質疑なし)

委員長

出来ることからといったような話もありましたし、事務局からの説明でもあったように、この3つの競技については、地域移行を進めやすいものだと思います。

皆さんの承認を得たということで事業の実施に向けて、進めて行ってほしいと思います。

7. その他

委員	モデル事業の実施について、来月からの動き出すという計画ですが、子どもたちや保護者の方への周知等も含めて、スケジュールについては中々難しいと思います。いかがでしょうか。
事務局	説明にもあったように学校側との調整や、説明会の開催などやらないことも多くありますので、場合によっては、事業開始がこのスケジュールよりも遅れてしまうこともあり得ます。ご了承をお願いいたします。
委員	県の方にお伺いします。平日、休日関係なくして、地域移行を進めるにあたり、まずは指導者の確保が非常に重要な要素になってくると思います。 令和4年度に国から出されたガイドラインでは、各都道府県が主体となって人材バンクを構築する必要性について述べられていたのですが、本県での進捗についてお伺いしたいです。
オブザーバー	人材バンク構築の前段階の動きになるのですが、競技団体の協力を得て、中学生を受け入れることができる団体について情報収集を行い、その結果について各市町に共有させていただきました。今後は、その情報に指導者の数などを追記し、同じように情報提供させていただきたいと思っております。 人材バンクまでとはいきませんが、県としてもいろいろな面でお手伝いさせていただきたいと思います。
事務局	改めまして部活動は、思春期を迎える子どもたちの人格形成などに大きな影響を与えるものであることは言うまでもないと思います。 休日部活動の地域移行を進めるにあたり、平日と休日で指導者が変わるということで、教員のアンケートでは、何をモチベーションに部活動指導に当たればよいのかという意見もいただきまして、全くその通りだなと思うと同時に、教員がそれだけ部活動指導に熱心に取り組んでいるんだなとも思いました。 部活動の一番大事なことは、子供たちが主体性を持って取り組むことだと思っております。イメージしているのは、休日のクラブで専門的な指導を受けて、自分は何をしなければいけないのかについて自分で考え、課題を持ちながらいきいきと活動していく子どもたちの姿です。 同じく教員のアンケートでは他市町の状況を見ると、本当に越前町では地域移行ができるのかという意見も有りましたが、何とかこの検討委員会で具体的に進めていくことができると思っているところです。今後も委員皆様のご協力をお願いいたします。

8. 閉会

副委員長あいさつ

出席者 委員 11名、オブザーバー 2名

欠席者 委員 1名

事務局

教育長、教育委員会事務局長、教育政策推進室長、教育政策推進室員 3名